

スポーツ指導者の資質能力 向上に向けて

眞藤 邦彦

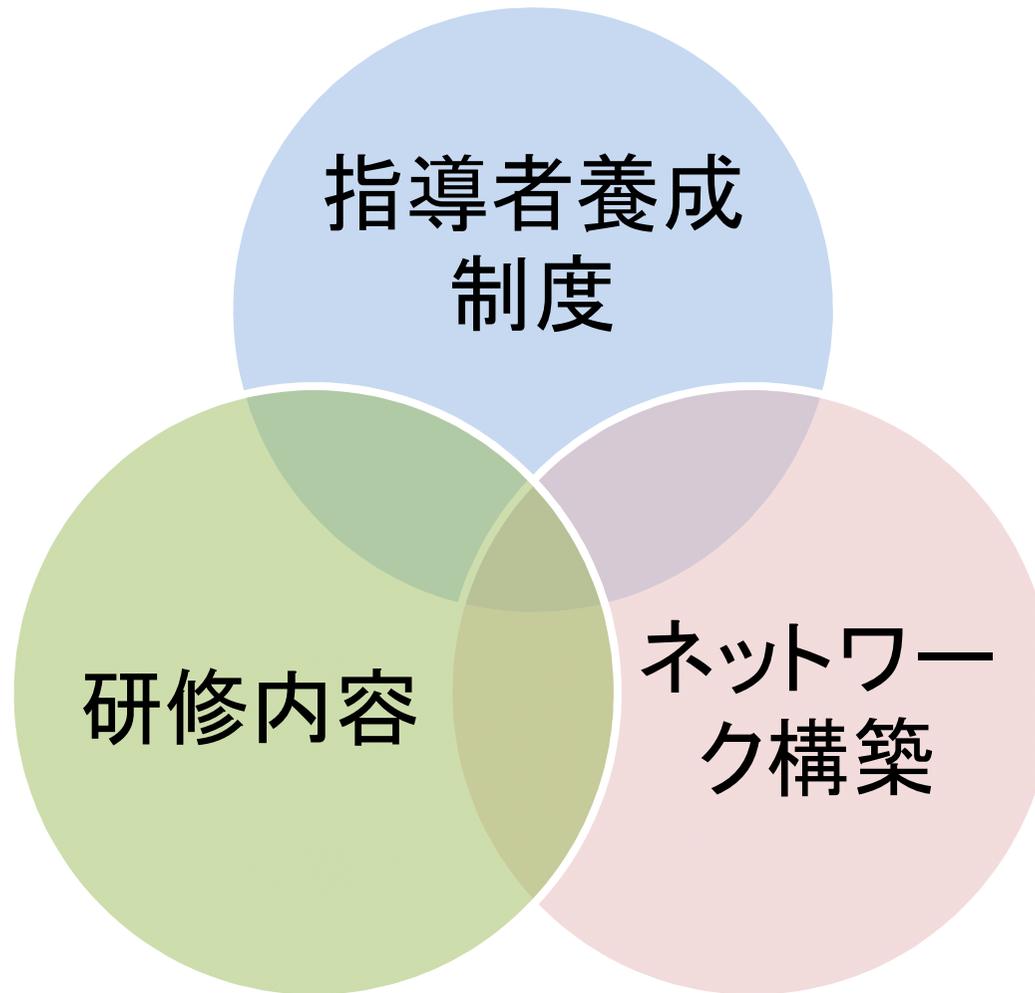
取り組みの三つの柱

指導者資格制度の充実

指導者研修内容の最適化

指導者ネットワークの構築

三つの柱は互いが関連し合うもの

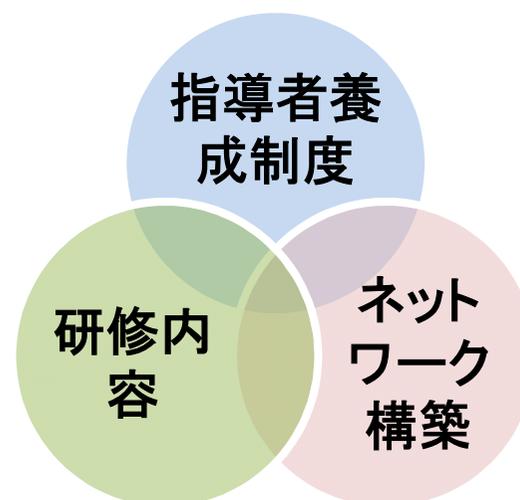


取り組みの三つの柱

指導者資格制度の充実

指導者研修内容の最適化

指導者ネットワークの構築



指導者資格制度 提言

- 各競技団体での下位ライセンスの充実をサポート
自団体でプログラムを組み、インストラクターを持つことを目指す → 量の確保を
- 大きな枠組みの中で、各競技団体の指導者養成の
独自性の尊重
各競技の発展のアイデンティティ
各団体が自競技の発展をトータルでデザイン
すること
- プログラム作成にあたっては、養成目標をしっかりと
立てること

下位ライセンスの充実

- キッズプログラムの作成
 - 共通プログラム
 - 各団体でのプログラム
- 独自ライセンス(D級、キッズリーダー養成)
- C級コース拡大
 - 各競技団体でインストラクター養成
- HPの活用
 - Eラーニング
 - 子どもの接し方・リスペクト
 - 修了証⇒啓発活動(指導の目覚め)

発信の充実（HPの活用）

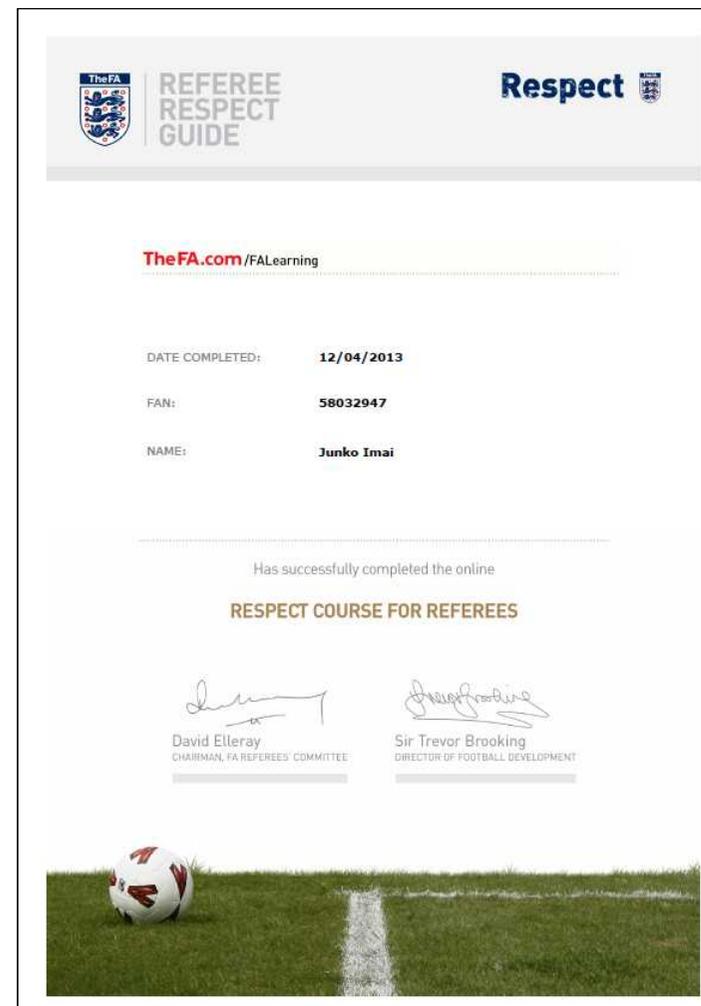
修了証の
ダウンロード

Eラーニングの充実：
受講しやすさ
一般向け発信も充実

→ 誰でも気軽に勉強できる
機会の提供

リスペクト各種
フットボールペアレンツ 等
質の高い映像の作り込みで
ストーリー性のある手の込んだ構成

(資料参照)



Eラーニング

イングランド協会

リスペクト Eラーニング 親・世話人コースの構成

無料の登録で受講可

全体で30～40分程度で受講可能⇒終了後、修了証がダウンロード可能
(無料ダウンロードと、オフィシャルなものは有料で申し込み可)

シーン1

試合前

ショートフィルム 父とこの会話(父の過度のプレッシャー)

↓

①子どもたちはなぜサッカーが好きか

ショートクリップ集

②エキスパートのコメント

ショートフィルムのシーンに対する専門家のコメント

③質問

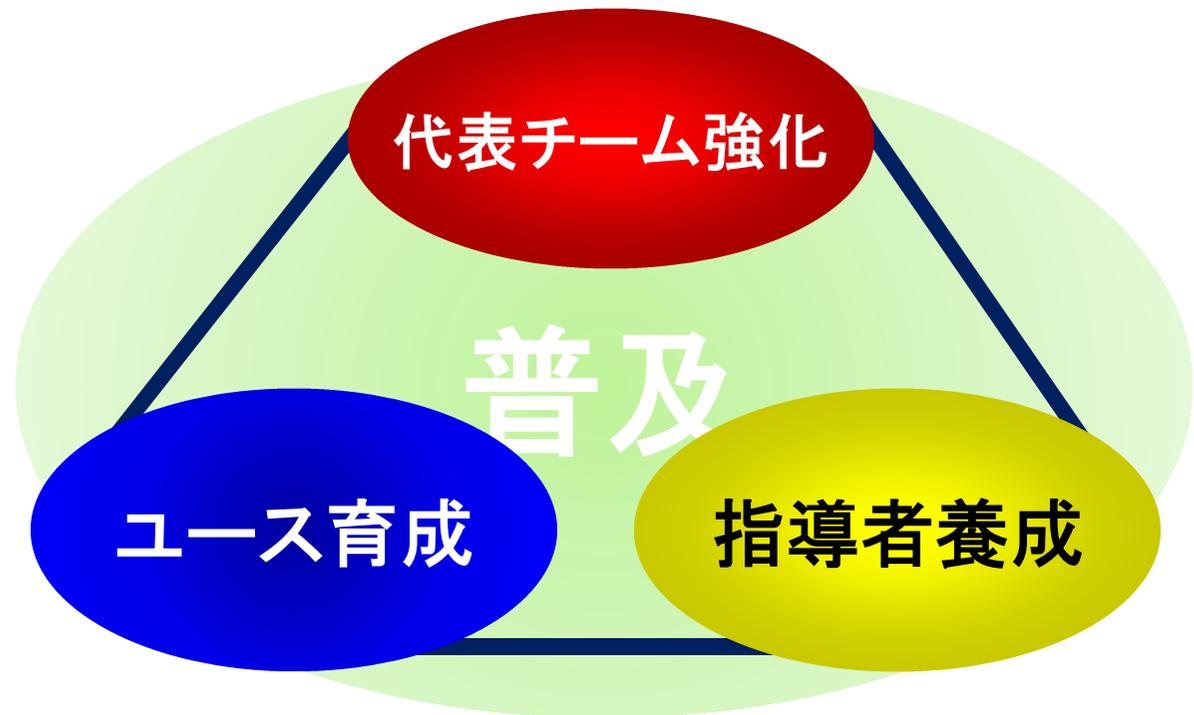
- ・子どもたちはなぜプレーをするのか
- ・子どもたちはプレーから何を得るのか
- ・子どもたちはどんなことがいやか
- ・なぜドロップアウトするか
- ・親は何を求めるか

1問ずつそれぞれ5択 ⇒正答と解説

指導者資格制度

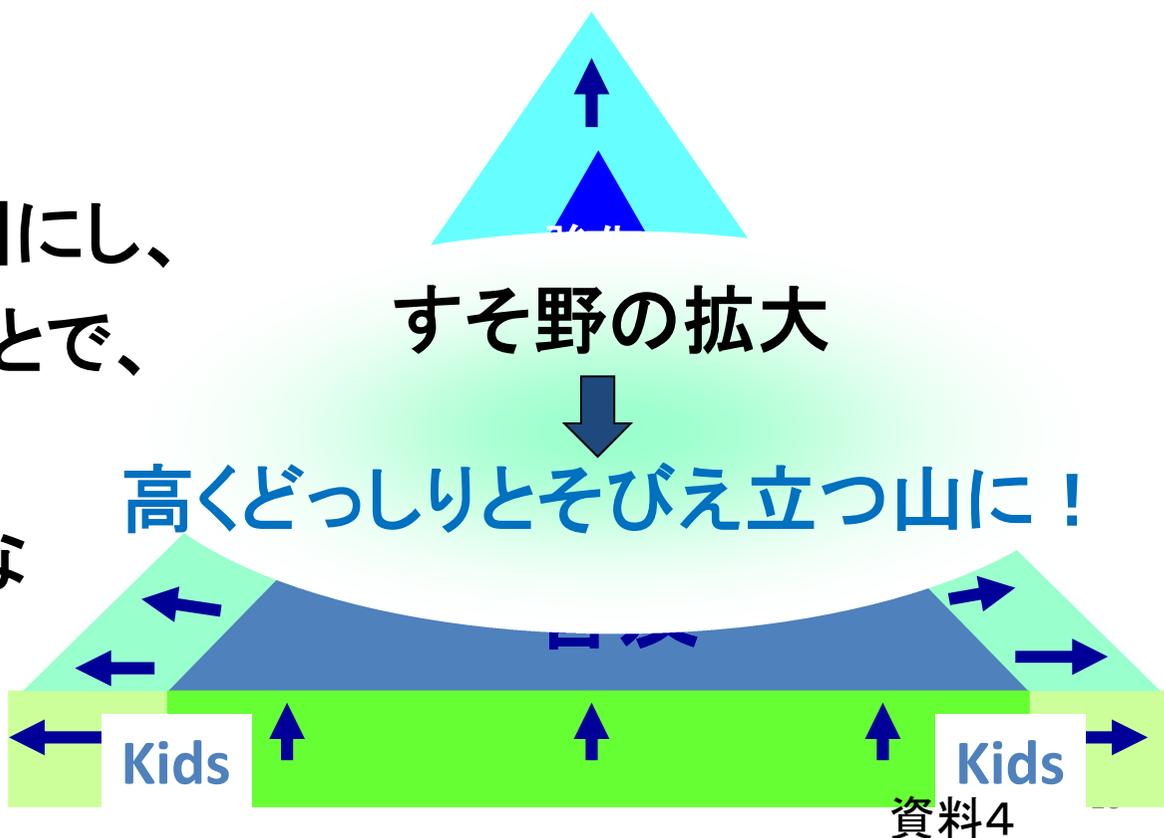
トップの強化と普及・育成
それを支える指導者養成

総合的に取り組まれる必要がある！



日本サッカーを 強く厚くする

すそ野を広げ、
育成の土台を堅固にし、
総合力を高めることで、
頂上を高くする。
強く大きなきれいな
山をつくる。



指導者資格制度 提言

- 各競技団体での下位ライセンスの充実をサポート
自団体でプログラムを組み、インストラクターを持つことを目指す → 量の確保を
- 大きな枠組みの中で、各競技団体の指導者養成の
独自性の尊重
各競技の発展のアイデンティティ
各団体が自競技の発展をトータルでデザイン
すること
- プログラム作成にあたっては、養成目標をしっかりと
立てること

研修内容の最適化

キーとなる2つの要素

カリキュラム内容

体系的に構築

必要に応じて定期的に修正

インストラクターの力

導き手としてのインストラクター

インストラクター研修

海外の事例 ドイツ

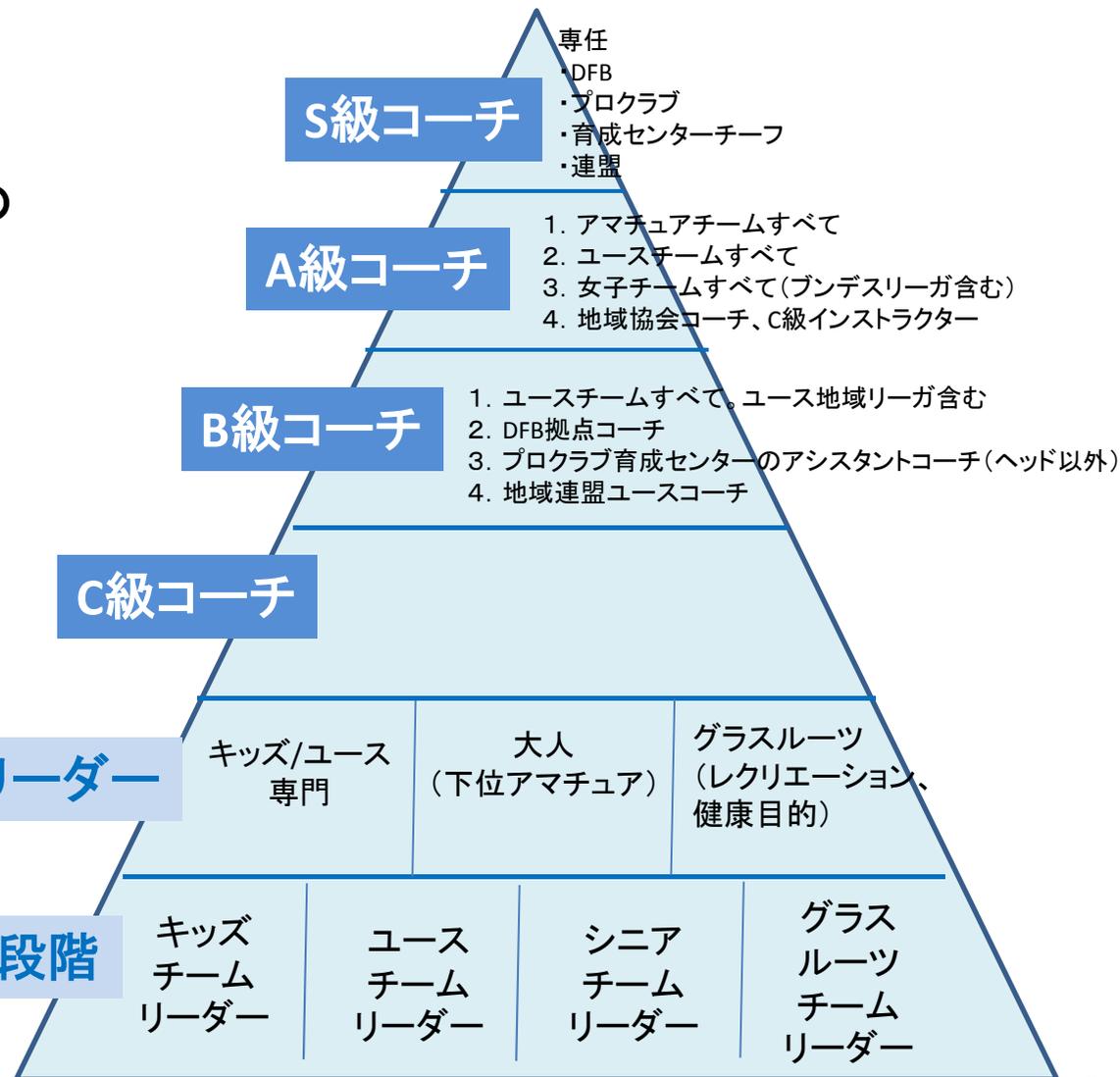
- 特徴を明確にする
(競技スポーツグラスルーツ)
- 養成経路の明確化
- 養成講習のオーガナイズの際の
時間的な面の柔軟性
- 内容をモジュールで分割
(機能まとめ)

C以下が地域協会主催
→ コース数確保

下位で、目的・
ニーズに合わせた
細分化

ライセンス前段階

限定Cリーダー

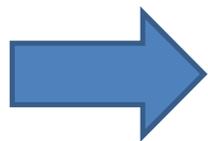


研修内容の最適化

養成目標の設定

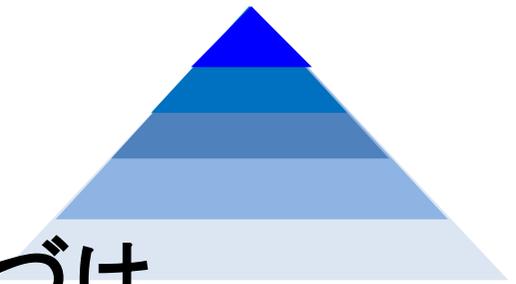
期間・量も含め理想像からピラミッドを想定

それぞれの段階の目標を明確にすることが
必須



内容の検討

逆算(積み上げ)、体系づけ



研修内容の最適化

研修の柱

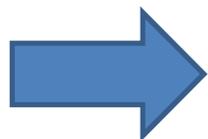
ライセンス講習会

リフレッシュ研修会

その他情報発信

体系的・普遍的

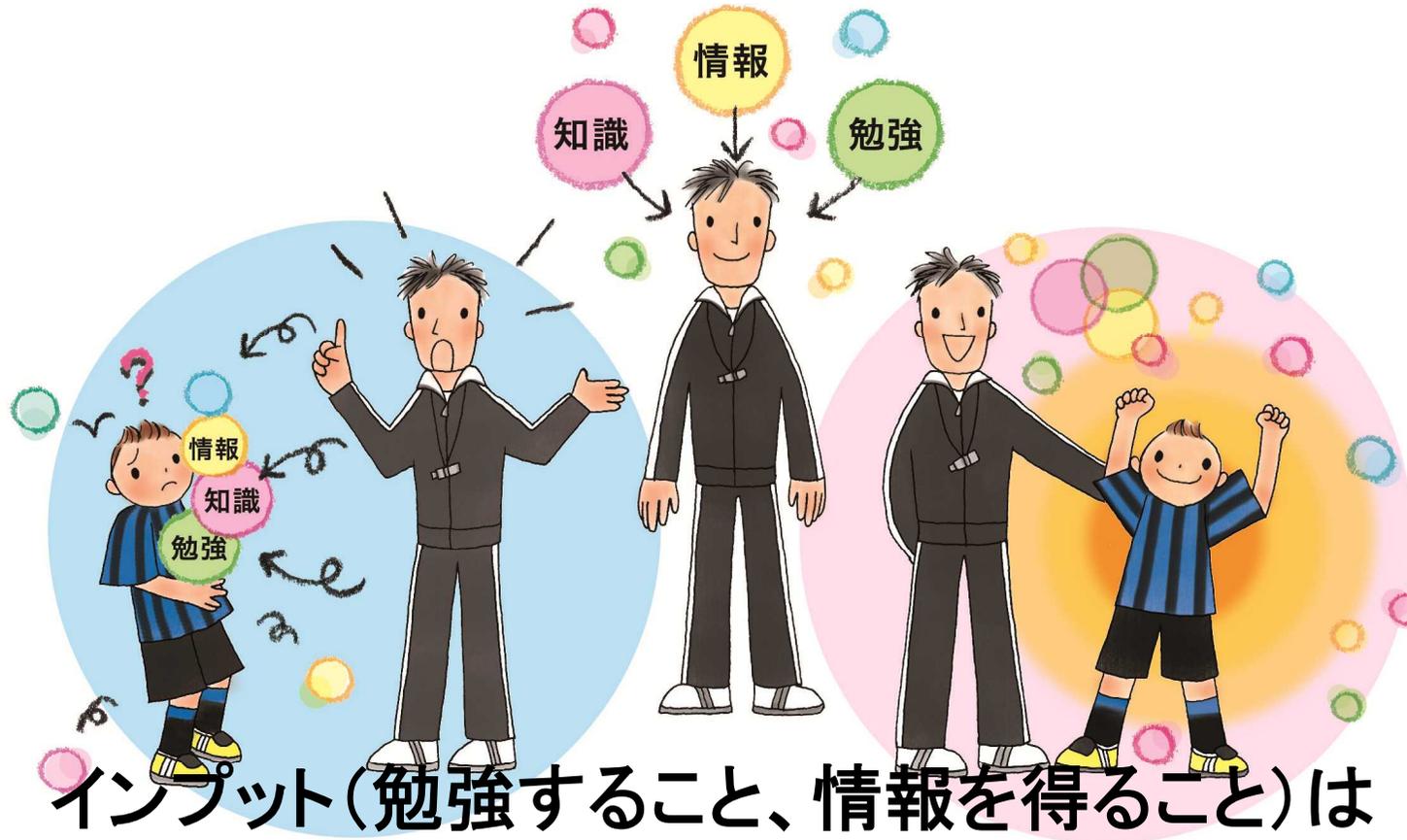
適時性
強調トピック



効果的組み合わせ

研修内容の最適化

インプット/アウトプット



インプット(勉強すること、情報を得ること)は
非常に重要

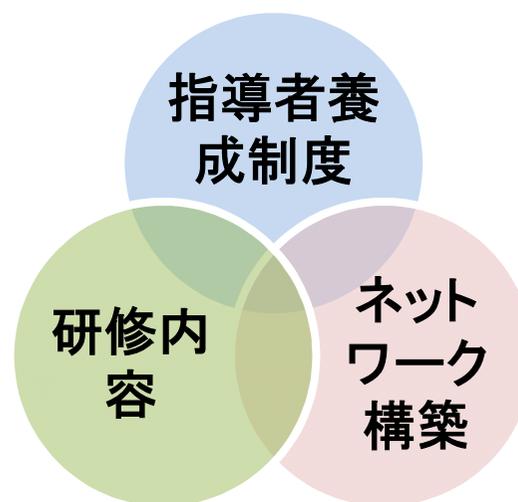
アウトプットは目の前の子どもたちに合わせて

取り組みの三つの柱

指導者資格制度の充実

指導者研修内容の最適化

指導者ネットワークの構築



指導者ネットワークの構築

指導者にとって仲間は重要

- 情報共有
- 指導の場はある意味閉鎖的
→ 振り返る機会必要

指導者ネットワークの構築

1. 指導者登録制度

登録指導者全員のネットワーク

登録メリットとして

- ・リフレッシュの受講
- ・情報発信(機関紙)
- ・その他のサービス

競技団体側からも伝える手段を持つことの
メリットは非常に大きい

指導者ネットワークの構築

2. 講習会受講

受講仲間のネットワーク

ライセンス講習→同志として長くつながる仲間
リフレッシュを身近なところで

→指導対象、関心、地元の近い仲間

一堂に会するカンファレンス

→ライセンス、指導対象等を問わず一堂に

指導者ネットワークの構築

3. リスペクトFC

リスペクトに賛同する有志のFC

リスペクトF.C. JAPAN

アドレス→ <http://respectfc.jp>

リスペクトプロジェクトの新たな取り組み

🏆 賛同の意思表示

🏆 参加、行動

🏆 連帯感

🏆 →仲間を増やす



指導者ネットワークの構築

4. コーチスクエア

指導者と指導現場のマッチングシステム

資格を取得した指導者を指導現場へ誘導

登録指導者と登録チームが出会う場

指導者ネットワークの構築

5. 上位資格取得者の活用

チューター、メンター、モニター、等

チューター

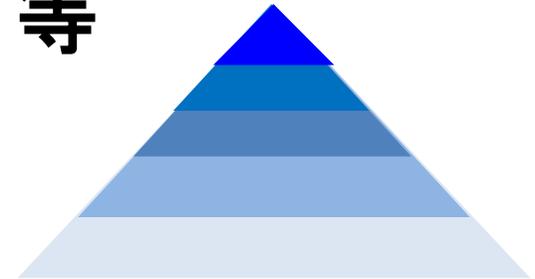
⇒間の学習(前期・後期)

メンター

⇒指導上の相談

モニター

⇒選手発掘



指導者ネットワークの構築

5. 上位資格取得者の活用

S級、A級ライセンス取得者の活用
⇒C級・D級コース数を増やす

[S級

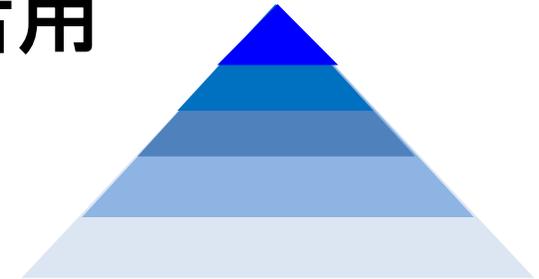
Jリーグアカデミーセンター長(A級以上)

⇒C級・D級インストラクター養成

(2年に一回資格更新講習会)

[大学・専門学校へ展開(指導者への誘導)

[Jリーグ現役選手が受講しやすい講習会



指導者ネットワークの構築

6. 指導者の地位向上

育成指導者の価値評価

育成指導者の露出

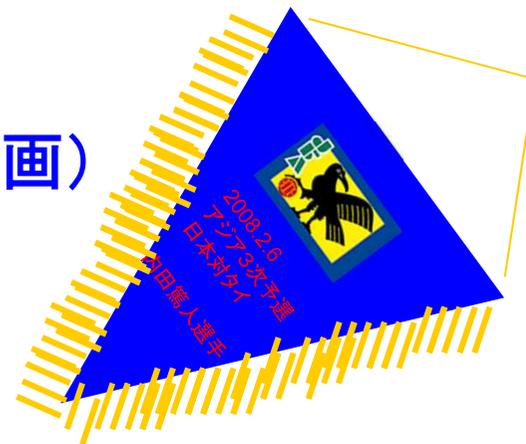
日本代表戦のプログラムに、育成年代からのチーム所属履歴を掲出
プロクラブも準じるクラブ多数

ブルーペナント (アワードの計画)

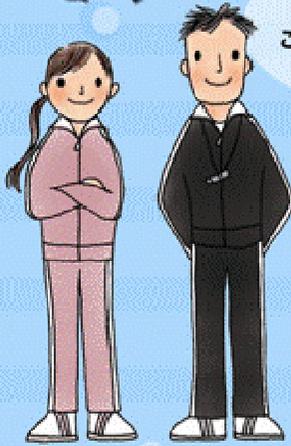
代表選手の育成に、育成年代の各段階でたずさわった指導者に、記念品としてブルーペナントを贈呈する。

参考： イングランドのキャップの例

※ 2002年に実施歴あり(代表試合への招待)



コーチ



ゲームの中で
こんなことをさせたい



こういうことが
できるようになりたい!

こんなプレーに
なったらいいかな

シュートがもっと
うまくなりたい!



子ども